

時の窓

第120号

2007.10.19
全司法労働組合
青年協議会

CONTENTS

- ・第17回定期総会の報告です!
- ・新コーナー
議長&常任が
語ってみる
- ・07年度新役員紹介



青年協第17回定期総会開催!

明るく楽しく元気良く活動しよう



あいさつをする氏川議長

全司法青年協は、9月1、2日にかけて、東京都台東区上野にある「陽外荘」にて第17回定期総会を開催しました。総会には総勢40支部、63名の青年が参加し、次世代の裁判所を担う青年達が、これからの裁判所を確立するために熱い討論を繰り広げました。そして、新しい常任体制のもとで、一年間のたたかう方針を確立しました。

青年をとりまく情勢は？
賃上げになるかも！？

討論の最初は情勢からです。宮城支部から「人勧の賃上げ勧告は8年振りとなることから、ほぼ全ての青年が初

めて賃上げを経験することになる。今回の結果は、今年だけではなく来年に向けてやる気にもなる。本当によかったと感じている。来年も賃上げ勧告させるためには、民間労働者の賃金を上げていく運動を強めていく必要がある。国公労連青年協や全労連青年部に結集し、民間と共闘することが必要不可欠である。」と、発言があり、民間労働者を含めた、まさに労働者全体の運動が必要であり、国公青年協や全労連青年部等へ結集することの必要性について主張されました。

私たちの賃金は、民間企業の賃金を基準として人事院が行う「人事院勧告」によって形が作られ、それを受けて政府が実施するかどうかを決めたうえで予算案を作成（実際に作成するのは財務省）し、3月の予算国会を通過して初めて予算として決まります。よく、「組合が政治活動するのはおかしいのでは？」との意見も聞かれますが、予算が決まってくるまで政府に働きかけることも青年の生活を向上するためには非常に重要な活動になります。要求には予算はつきものです。これからも頑張っていきましょう!

来賓の皆様方です



全司法女性対策部長
本藤様



国公青年協議長
笠松様



全法務青婦協副議長
古山様



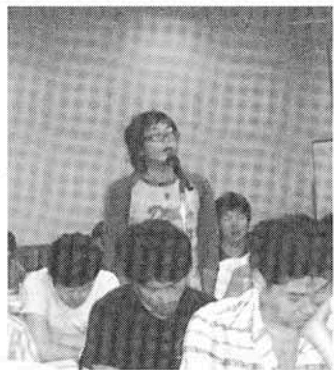
全司法本部委員長
石橋様

熱すぎるぜ宿日直討議!

宿日直の関係では宮崎支部からは「実情として、宿直をあてにして生活している人がいる。そういった人が当直のないところに異動することになると大変である。廃止要求はしようがない部分はあるが、手当を頼りにしなくても生活できる賃金がもらえる心配である。」と実情報告が出されると、四国地連や愛知支部からは「青年の生活を維持する上で非常に重要であり廃止方針は反対である。賃上げだけで青年の生活は良くはならない。少ない人数の中で当直をする人間関係ができることもある。また関係機関が頑張っている中で、裁判所だけが事務を止めて楽するのはよくない。」等、当直は青年にとって、生活していく上で非常に重要なものであり、廃止すべきではない、との発言がなされました。



総会議長のお二人。左が大津支部の白石代議員、右が山口支部の池永代議員。ナイスな進行、ありがとうございました。



発言する宮崎支部の
蓑田代議員

常に繁忙であり、今の手当だけを支給して翌日に通常業務を行う状況は健康管理上の問題である。繁忙であつて裁判所の当直事務は付加業務である以上、廃止要求はしないといけないのではないか。」との意見や、千葉支部からは「当直を行うと殆ど寝られない。深夜令状処理をした翌日に、管理職からは年休を取れと体調管理に気をつかう言葉をかけられる。現実問題として廃止は難しいが、女性の登用が増え、少ない人数で当直を行うことになってきている。翌日の業務に支障が出るなど、体調管理の問題もある。」等の発言が出されました。体調管理の関係では各支部で当直回数の制限がなされている報告が多く出されており、青年にとって当直手当の必要性和健康問題についての発言が出され、各支部でも調整の難しさが強調されています。

宿日直に関しては、その手当が青年の生活に必要な事実と、健康管理の問題から体調を崩したり、本来業務に支障をきたしている事実と両方の報告が出されています。当直に頼らないと生活できない給料しか支給されない青年の賃金は低く抑えられています。当局に対して生

活実態を中心に青年の現状を訴え続け、更なる賃上げにむけて活動していくことが重要です。また、職員の健康管理からも、宿日直の廃止や手当の充実、代休制度の確立に向けた討議や追及が重要となってきました。各支部青年部の実情によって要求は大きく変わってくる部分です。多くの青年からの意見をあげていくことが急務といえます。

レクにも「ひと工夫!」 青年は青年同士で

組織の関係では、青年部の定期大会をキャンプレクと同時行い、大勢の参加を得た報告(福岡)や、新採加入へ向けて、早い段階で企画し、青年が早期呼びかけを波状的に行い、その際に渡すパンフレット作成の自身は2年目の青年が意見を出し合っているとの報告(三重)が出されました。一方で、県外採用者が多く、なかなか加入に繋がらないこと、脱退者が多く脱退理由を聞いてとりくみに活かす報告もなされ、全体で情報を共有し、引き続き組織拡大に向けてとりくんでいくことを確認しました。

友好祭典については楽しかったし全国で交流する良い機会との意見が出され、国公青年交流集会で実行委員をして大変ではあったが成功したときは達成感も大きく実行委員をして良かったと思う(静岡)との発言もなされる等、ともに今後も続けてほしいとの意見が多く出されました。

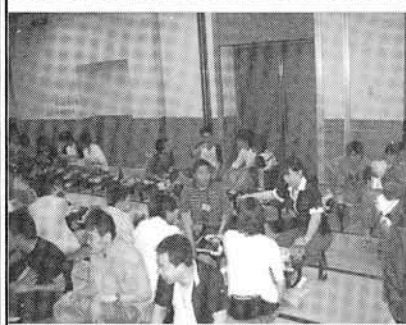
その他、青年協HPに対する意見(四



今回退任した青柳事務局長。7年もの間、青年協に携わってきました。本当にお疲れさまでした。

全国の青年が 一丸となつていきましょう。

常任体制の見直しに関わっては、負担軽減のため、これまで以上に各支部が協力して、青年全体がこれまで以上に一体となつてとりくんでいくことを確認し、採決の結果、1号議案から4号議案まで全ての議案が可決されました。また、新役員についても全員信任されました。



全国から集まる総会の夜に懇親会はつきものですが、盛り上がりすぎでしょうか?

トッパバナー

青年協常任委員(中国代表?) 池永純子

正直、私達はこういう苦労を知らずらいので、理解があまりできていないと思います。

新しくメンバー入りしました、下関の池永純子といいます。よろしくお願ひします！
で、さっそくですけど…「組合」の印象って、「労働条件改善の為に戦う」とか、「権利を勝ち取る」とか、ちよつと、若者には理解しにくい(**)というか、なんか重い(-_-)イメージがある気がします。

でも！！組合の意義って、今はちょっと違うと思うんです。だって、私たちの先輩方が、今は当たり前にある休暇制度とか、男女平等とかいった権利を勝ち取ってきてくれてますから、昔ほど、権利がどうか、そこまで重い話は少なくなっているからです。

だから、今回は、せっかくなんで、私なりに「今の組合ってなんであるんやろ〜？」って考えてみました。

まず、組合って、どういう機能を果たしているんでしょうか…『当局が何をしているのかを監視するため』、『よりよい職場環境を作るため』…とか、いろいろあると思います。

考えてみてください…

決定されたある制度について、困ったことが起きました(/_:/)。どうかしてもらわないと困る とします。

しかし…

一人で上司に訴えたところで、ほんとに、一人というのは無力(=)です。とくに、うちのような、全国規模の組織では、一人が訴えたところで、何も変わるはずありません。

そんなとき…

それを組合に提案してみたいとします。その意見が問題視されたとき、それは、組合という組織の意見として、当局に伝えられるわけです。これで、実現するかというと、全くそうではありませんが、決して無力ではないし、少なくとも、そういう問題が起きていることだけでも、まず、当局に認識してもらうことができます！一人の意見なら無視しても大きな問題にもなりません。が、**大きな組織の意見なら、当局も、完全無視ってわけにはいかなくなります！**

このような制度などについて監視をし、よりよい制度になるよう働きかけるなんて、**組合にしかできないこと**ではないでしょうか？まさに、最近、**コオスン**も、組合が作られて組合で動いたからこそ、大きな問題になりましたよね。

だから！！

組織率って大切です。一人一人は何もしてないように思えるかもしれませんが、**みなさんが加入していることで、大きな力として活動できている**わけです。

で…

役員問題とかいろいろありますけど、実際は、支部分会よりも、地連が、地連よりも中央執行委員の方々が、さらに頑張ってくださいますm()m「役員をやられるくらいならやめる…」というのが多いようですが、それを思っ、少し役員が大変だからといってやめたりせず、**少しでも協力しようって気持ちになっ、てくれたらなと願うばかり**です。自分たちの組合の話であって、**他人の組織の話ではない**わけですし。



下関支部の先輩は持っている？ 下関Tシャツ。

プロフィール
いけななが、じゅんこ

- H11.4 山口地獄下関支部で採用
- H16.9 総研に入所(総研1期)
- H18.3 何とか卒業し書記官に任官
- H19.9 常任委員となり、現在に至る。

とは言っても、やはり人間には、得意不得意というのがあります。役員のような仕事が苦手な人(>.<)、率先してやってやろうという人(^.^)/、様々です。ですから、役員を押しつけたりするようなことなく、そして、役員が重荷だと感じてる方がいれば、**みんなで助け合っ**て組合をもり立ててくれたら…というのが、理想でしょうか？
こういうへのサポートは必要です！

みなさんも、組合の存在意義について、考えてみてください！

そして、若い私？たちは、今、自分たちがしっかりしてないと、自分たちの時代になってから困ることになると思います。環境問題と同じで、今は、対して自分に影響がないから、あまり関心も持てない(??)かもしれませんが、自分たちの職場ですから、**働きやすくするために、頑張っ、て仲間を増やしていきましょ**(^_^)v

私からは以上です。最後まで読んでくださった方、ありがとうございました。 では、次は、だれが語るのか？お楽しみに！

編集後記です。

今回、退任した青柳事務局長。通称やぎの愛称で呼ばれ、その飄々とした性格からにじみ出る人柄には、好意を寄せられている人も多いのではないのでしょうか。そして、7年もの間、青年協役員として全国を走り回りながら活動していたやぎくも青年を卒業し、これからの活躍が期待されるようになります。

やぎくが青年協役員として活動を始めた7年前、皆さんは何をしてました？実は私とやぎくのおつきあひも5年が経過しています。その間に様々な人が青年協に関わっています。皆さんも、毎年行われる青年協総会や昨年の友好祭典を始め署名や中央行動にて青年協に関わったことがあるかと思ひます。しかし一方では今回初めて青年協に関わった人もいます。今回の時の窓に記載されている「青年協役員紹介」を作成してくれたのは新しい常任委員です。やぎくのようにこれまで関わってきた人や、これから関わる人がいて青年協は形作られていますし組織に対する見方も決まります。これからの青年協を活かすのも殺すのも役員を筆頭にした私たち青年です。先輩が作った大切なものを守りながら、新しいものを取り入れて活動したいですね。

